

2023年2月期

決算補足資料



目次

株式会社イオンファンタジー

1. 2023年2月期 連結決算概要
 2. 2023年2月期 重点取組み概要
 - ① 国内事業
 - ② 中国事業
 - ③ アセアン事業
 3. 中期経営計画の進捗
及び2024年2月期重点施策
 4. 2024年2月期 連結業績予想
- 【参考資料】 単体資料



会社概要

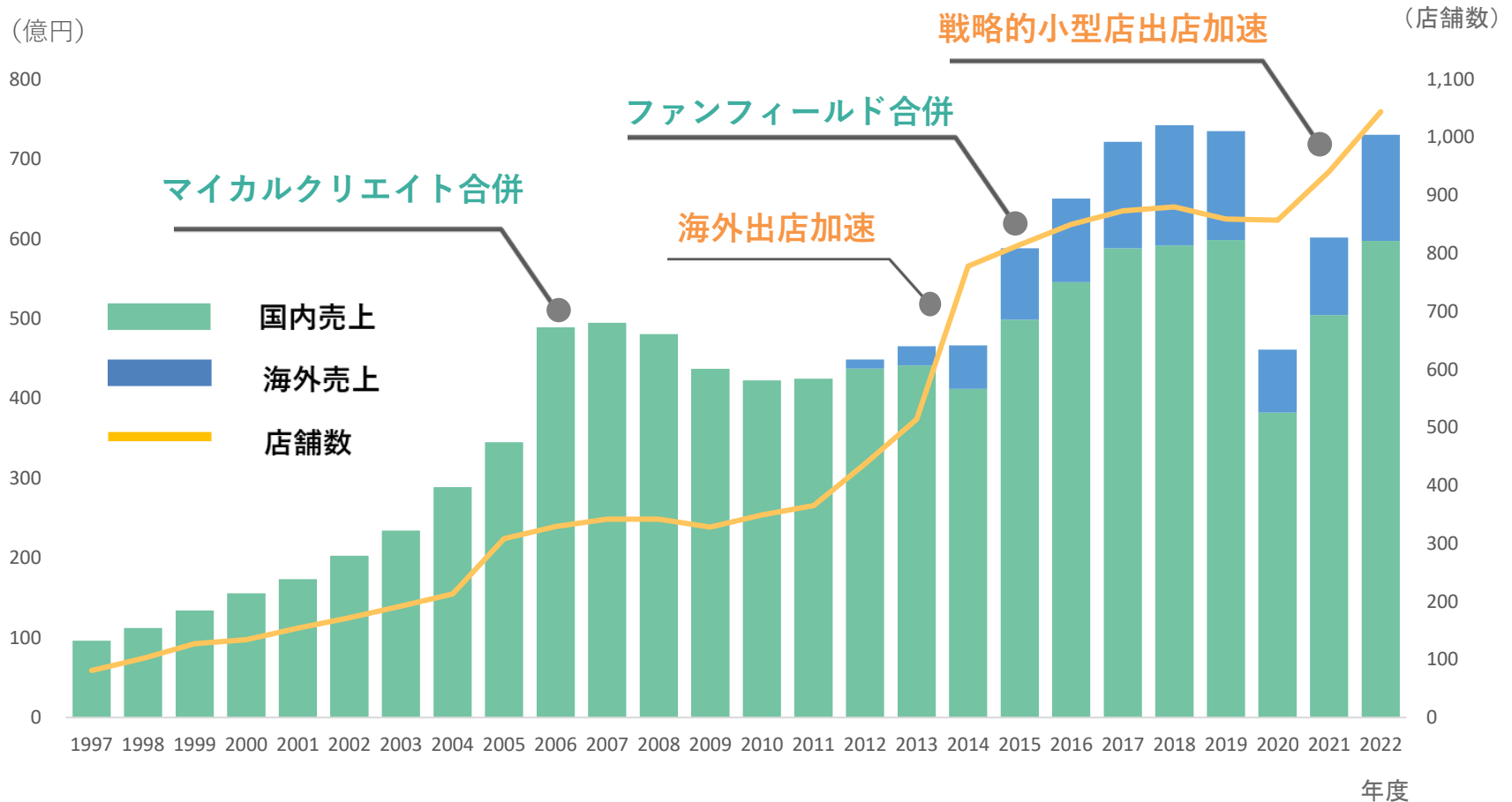
- 1) 商号 株式会社イオンファンタジー
- 2) 所在地 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
- 3) 設立 1997年2月14日
- 4) 資本金 18億6百万円
- 5) 株主 イオン株式会社 65.78% その他 34.22%
- 6) 市場 東京証券取引所 プライム市場
- 7) 事業 ショッピングセンター内「アミューズメント施設」
及び「プレイグラウンド」の運営



沿革

1988年 1号店開店（ジャスコ(株)の事業部門）
1997年 会社設立
2005年 東証一部上場
2006年 (株)マイカルクリエイトと合併
2007年 中国に会社設立
2011年 マレーシアに会社設立

2012年 タイに会社設立
2014年 フィリピン・インドネシアに会社設立
2015年 (株)ファンフィールドと合併、業界**No.1**となる
2017年 ベトナムに会社設立
2022年 **1,000**店舗達成
2023年 現在**1,044**店舗





2 0 2 3 年 2 月 期

連結決算概要

2023年2月期連結業績

売上高は前期比 20.8%増
営業利益は前期から42億57百万円の改善

2023年2月期

(2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位：百万円、%)

	前期	当期	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	60,170	72,690	20.8	+12,520
売上総利益	1,687	6,896	308.7	+5,208
営業利益	△ 3,408	849	—	+4,257
経常利益	△ 3,385	1,318	—	+4,703
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 4,507	△ 3,376	—	+1,131
1株当たり 四半期純利益	△228.07円	△170.82円	—	+57.25円

営業外収益に為替差益 9億34百万円、
特別損失に減損損失 21億65百万円、店舗休止損失 11億24百万円を計上

四半期会計期間別の連結業績推移

各四半期において売上高、営業利益ともに前年同期を上回る

2023年2月期・売上高・営業利益の四半期別推移

(単位：百万円、%)

	売上高			営業利益		
	当期	前期比 増減率	2019年比 増減率	当期	前期比 増減額	2019年比 増減額
第1四半期	16,161	21.3	△ 10.1	△ 325	+1,434	△ 635
第2四半期	18,918	27.2	△ 9.8	622	+1,441	△ 1,920
第3四半期	17,698	22.6	5.8	△ 431	+919	△ 67
第4四半期	19,912	13.5	11.9	983	+461	+260

セグメント情報

売上高・営業利益ともに国内・アセアンが前期から大幅改善

2023年2月期

(2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位:百万円、%)

		国内	アセアン		海外計	連結計
			中国	アセアン		
売上高	実績	58,824	4,858	9,034	13,893	72,690
	前期比増減率	+16.7	△ 37.1	+328.3	+41.3	+20.8
営業利益	実績	2,402	△ 2,782	1,220	△ 1,562	849
	前期比増減額	+4,002	△ 1,551	+1,796	+244	+4,257

連結貸借対照表

(2023年2月期)

連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	前期		当期		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,919	21.3	10,842	23.1	△ 77
固定資産	40,315	78.7	36,074	76.9	△ 4,240
資産合計	51,235	100.0	46,917	100.0	△ 4,318
流動負債	31,509	61.5	32,354	69.0	+845
(短期借入金・1年内含む)	22,238	43.4	20,849	44.4	△ 1,389
固定負債	7,884	15.4	6,424	13.7	△ 1,459
(長期借入金)	1,779	3.5	1,025	2.2	△ 753
負債合計	39,393	76.9	38,778	82.7	△ 614
純資産合計	11,841	23.1	8,138	17.3	△ 3,703
負債純資産合計	51,235	100.0	46,917	100.0	△ 4,318

連結キャッシュフロー計算書

(2023年2月末日現在)

2023年2月期

(2022年3月1日～2023年2月28日)

(単位:百万円)

	前期	当期	前期比 増減額
営業活動キャッシュフロー	6,176	9,057	+2,881
税金等調整前当期純利益	△ 4,783	△ 2,049	+2,734
減価償却費	10,518	10,063	△ 454
法人税等の支払額	△ 319	△ 287	+32
投資活動キャッシュフロー	△ 7,091	△ 4,845	+2,245
有形固定資産取得による支出	△ 6,416	△ 4,069	+2,347
財務活動キャッシュフロー	1,395	△ 4,379	△ 5,774
短期借入金の純増減額	3,090	240	△ 2,850
長期借入金の純増減額	△ 2,333	△ 1,816	+516
配当金の支払額	△ 592	△ 197	+395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 211	239	+451
現金及び現金同等物の増減額	268	71	△ 196
現金及び現金同等物の期首残高	5,718	5,986	+268
現金及び現金同等物の期末残高	5,986	6,058	+71

店舗数の状況（2023年2月末日現在）

年間で新規出店142店舗、閉店40店舗
2023年2月末日現在の店舗数 1,044店舗（FC等9店舗含む）

今期の出店数および2023年2月末日現在 国別業態別店舗数

（単位：店舗数）

	従来業態			戦略的小型店				計	当期 新店
	Mollyfantasy	kidzoona	その他	TOYS SPOT PALO	PRIZE SPOT PALO	Tiny モーリー ファンタジー	その他		
日本	393	4	32	151	29	0	0	609	113
中国	131 (6)	47	13	0	0	0	4	195 (6)	7 (1)
マレーシア	47	29	13	3	0	15	1	108	9
タイ	4	20	0	0	0	3	0	27	1
フィリピン	0	51	0	0	0	0	0	51	4
インドネシア	0	31	2	0	0	0	0	33	3
ベトナム	5	9	1	0	0	2	1	18	5
カンボジア	1 (1)	2 (2)	0	0	0	0	0	3 (3)	0
アセアン	57 (1)	142 (2)	16	3	0	20	2	240 (3)	22
海外計	188 (7)	189 (2)	29	3	0	20	6	435 (9)	29 (1)
合計	581 (7)	193 (2)	61	154	29	20	6	1,044 (9)	142 (1)
業態合計	835 (9)			209					

注：()内数値は内数でFC等(業務提携契約、業務委託契約、ライセンス契約を含む)の店舗数。



2023年2月期

重点取組み概要

① 国内事業



【国内事業】 当期の重点取り組み事項



戦略的小型店の出店加速



よくばりパスコーナー展開



「のびっこ」の進化



サステナビリティ経営への
取り組み

【国内事業】 国内出店数

カプセルトイ専門店 TOYS SPOT PALO を中心に年間 1 1 3 店舗出店



アミューズメント



カプセルトイ専門店



プライズ専門店



温浴施設



新規出店 **10**
(計427店舗)

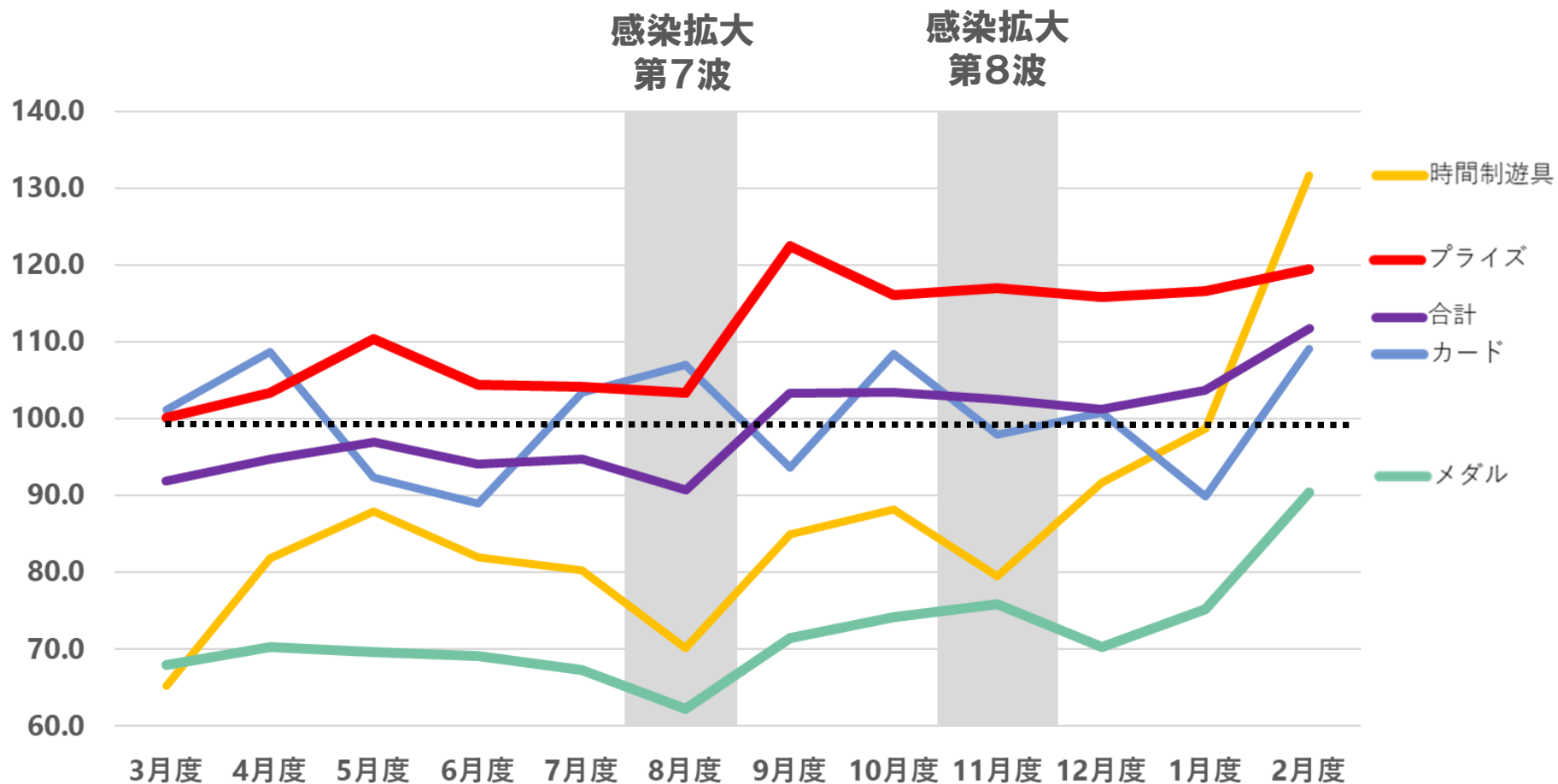
新規出店 **75**
(計151店舗)

新規出店 **27**
(計29店舗)

新規出店 **1**
(計2店舗)

【国内事業】 主要部門売上高既存店2019年比推移

プライズが好調を継続
コロナ禍で回復が遅れていたメダル・時間制遊具も回復基調



【国内事業】 プライズ部門 ①キッズプライズ

お子さま向けの小型クレーンブースを拡大



とれやすさが人気のキッズプライズが好評

プライズ部門内における
キッズプライズ構成比

2019年度

29.6% →

2022年度

33.0%

【国内事業】
プライズ部門
②当社限定景品

最大商戦のお正月に合わせ、
人気キャラクターの当社限定プライズを展開



1月導入「パウパトロール」
小さなお子さまに圧倒的サポートを誇る
人気アニメを限定プライズ化



12月導入「サンリオキャラクターズ Pyon Pyon Pyon!!」
うさぎ年にちなんだキャラクターのラインナップで話題に

プライズ部門売上高
既存店前期比 **114.1%**

【国内事業】 メダル部門

下半期からの回復を受け「1万円でメダル1万枚」イベントを実施し大盛況



コロナ禍で最も影響を受けたメダル部門だが
第3四半期以降、回復傾向に

メダル部門売上高
既存店前期比 **118.5%**

【国内事業】 時間制遊具部門

新店・活性化で導入している新モデル「のびっこ」が好調



従来の「わいわいぱーく」から、さらに低年齢層（0～3歳）をメインターゲットに

時間制遊具部門売上高
既存店前期比

128.1%

【国内事業】 体感部門

体感コーナーの利用を促進するため、
よくばりパスのコーナー化を導入全店で実施



よくばりパス売上高
既存店前期比

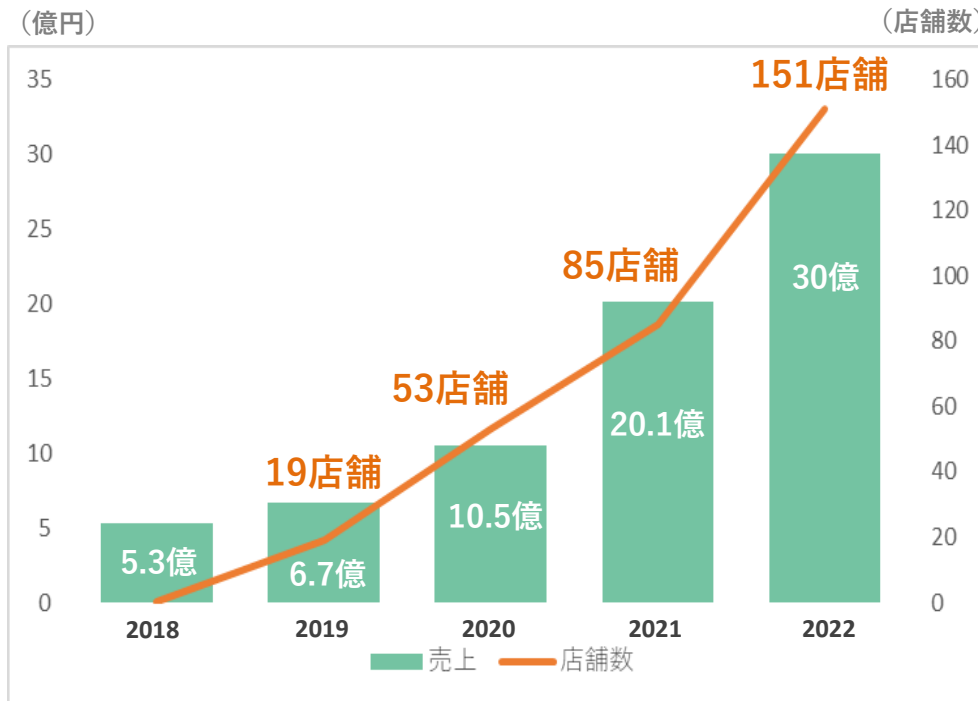
202.3%

体感部門売上高
既存店前期比

110.2%

【国内事業】 カプセルトイ部門

売上高は2018年から約6倍に成長
カプセルトイ専門店 TOYS SPOT PALOは
「大丸百貨店」「イズミヤ」など、イオングループ外にも積極出店



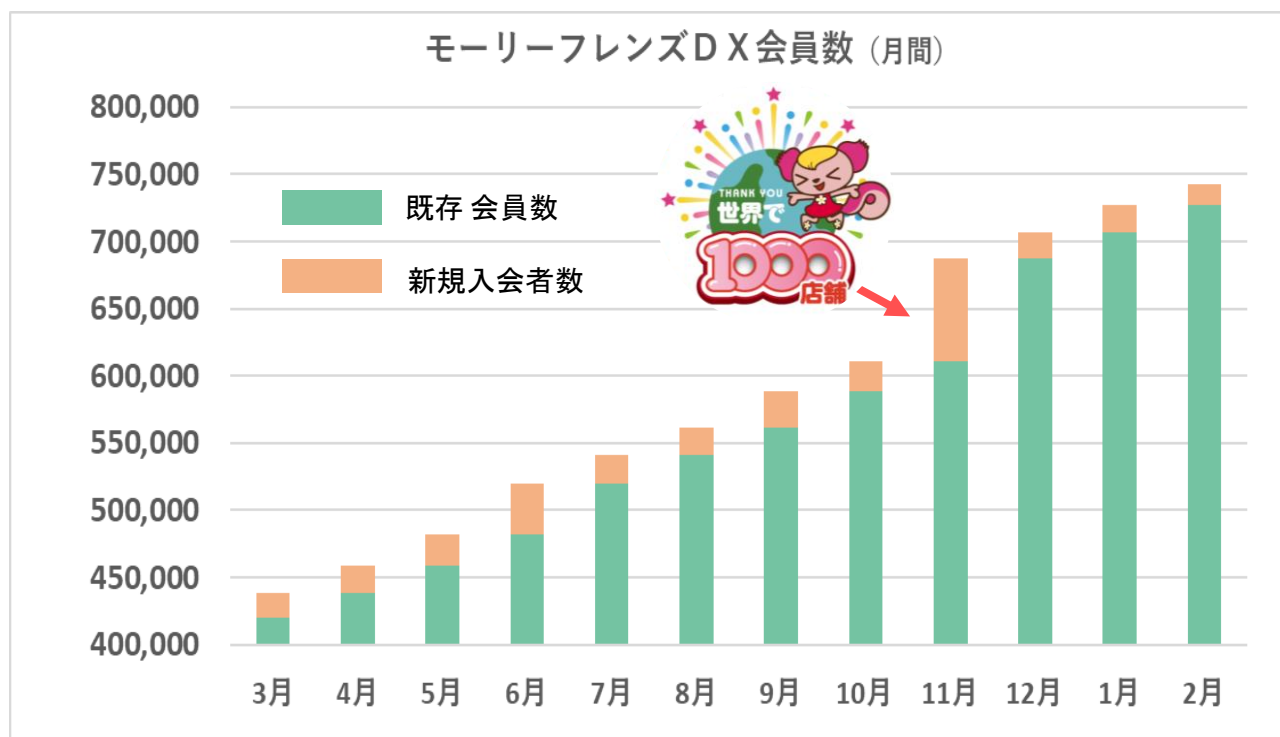
専門店拡大前の2018年度から
売上高は約6倍の30億円に拡大

カプセルトイ部門
売上高前期比

186.2%

【国内事業】 モーリーフレンズDX（会員制度）

年間で約32万人の新規会員を獲得
メダル・時間制遊具・よくばりパスのクーポンが好評



会員数 42万人 → 74万人

（2022年2月末時点）

（2023年2月末時点）

【国内事業】 サステナビリティ経営への取り組み

当社のマテリアリティ（重要課題）

①気候変動への対応

②循環型社会への取り組み

③こどもたちの未来への貢献

④従業員がいきいきと働ける
組織づくり

⑤地域社会との
コミュニケーションの深化

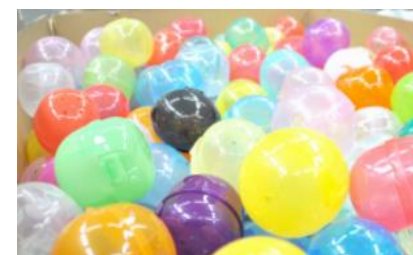
⑥コーポレート・ガバナンスの強化



全遊戯機械の
蛍光灯を
消費電力の
少ないLEDに変更



カプセル回収BOXを
専門店に設置



リサイクルが学べる
エデュテイメント機種
「ぐるぐるリサイクルん」
3自治体からの要請を受け
イベントに出展

【国内事業】 サステナビリティ経営への取り組み

当社のマテリアリティ（重要課題）

①気候変動への対応

②循環型社会への取り組み

③こどもたちの未来への貢献

④従業員がいきいきと働ける
組織づくり

⑤地域社会との
コミュニケーションの深化

⑥コーポレート・ガバナンスの強化



11月20日（世界こどもの日）に
時間制遊具210施設を無料開放



子どもの夢をかなえる「ララゆめ」を実施
今回の夢は「競馬の実況をしたい！（7歳）」

【国内事業】 サステナビリティ経営への取り組み

当社のマテリアリティ（重要課題）

①気候変動への対応

②循環型社会への取り組み

③こどもたちの未来への貢献

④従業員がいきいきと働ける
組織づくり

⑤地域社会との
コミュニケーションの深化

⑥コーポレート・ガバナンスの強化



日本骨髄バンク

従業員の声から
「ハグくみ休暇」「ドナー休暇」を導入



令和4年度
千葉県男女共同参画推進事業所表彰
知事賞受賞

【国内事業】 サステナビリティ経営への取り組み

当社のマテリアリティ（重要課題）

①気候変動への対応

②循環型社会への取り組み

③こどもたちの未来への貢献

④従業員がいきいきと働ける
組織づくり

⑤地域社会との
コミュニケーションの深化

⑥コーポレート・ガバナンスの強化



全国の児童養護施設100施設へ
ララちゃんのお楽しみDVD等プレゼントを寄贈



管理職を対象に人権研修を実施

【国内事業】 各会計期間の業績推移

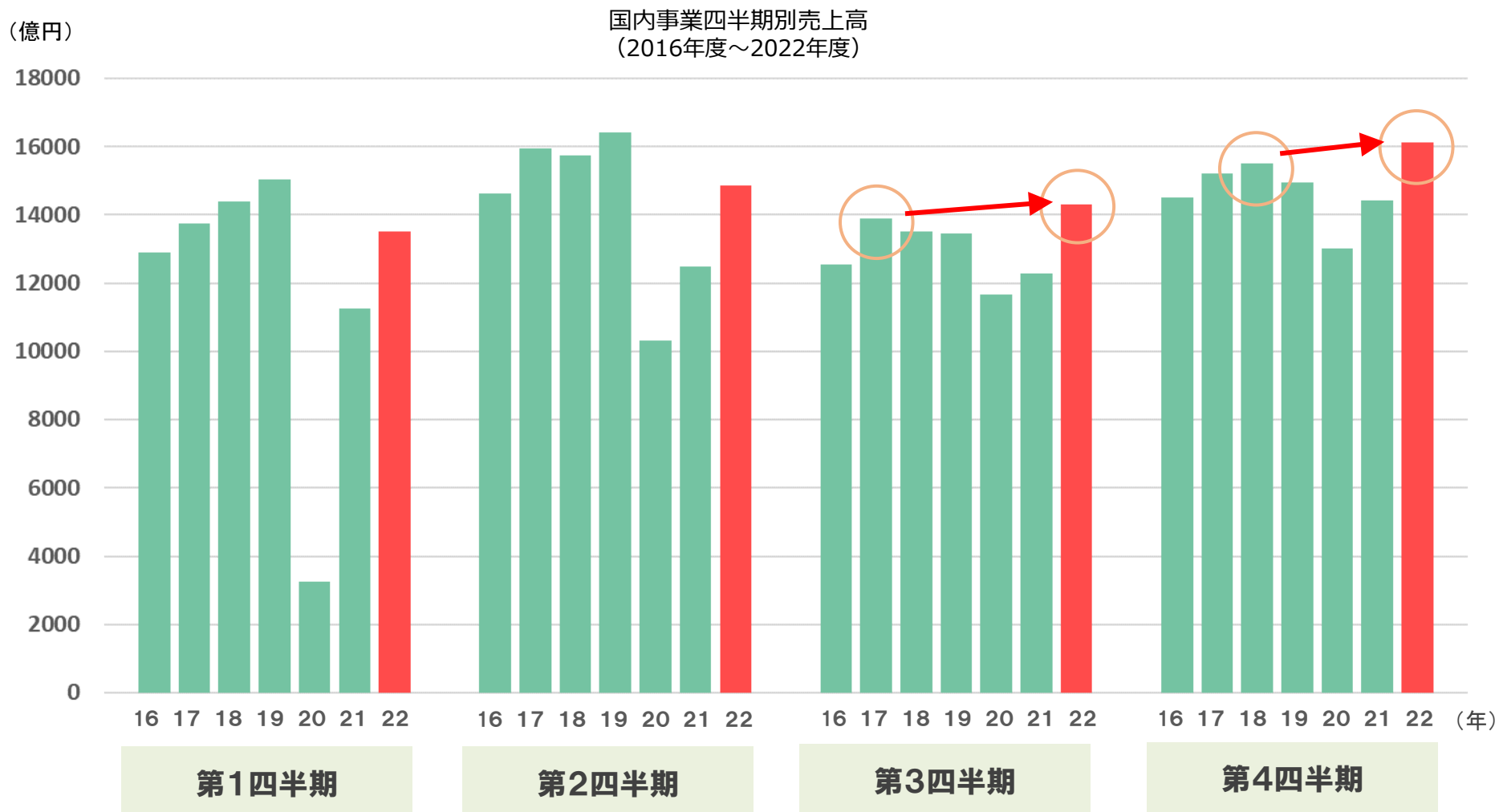
下半期以降、コロナ禍からの回復がより鮮明に
 第3四半期には売上高が19年度を上回り
 第4四半期には売上高・営業利益ともに19年度を上回る

2023年2月期・売上高・営業利益の四半期別推移

	売上高			営業利益		
	当期	前期比 増減率	2019年比 増減率	当期	前期比 増減額	2019年比 増減額
第1四半期	13,519	20.3	△ 10.1	44	+1,085	△ 974
第2四半期	14,863	19.1	△ 9.5	764	+1,318	△ 1,328
第3四半期	14,313	16.6	6.5	188	+901	△ 9
第4四半期	16,127	11.9	7.8	1,405	+697	+239

【国内事業】 各会計期間の業績推移

第3四半期・第4四半期の売上高は過去最高を更新





2023年2月期

重点取組み概要

- ② 中国事業
- ③ アセアン事業

中国・アセアン事業の業績

アセアン計では売上高・営業利益ともに過去最高を更新
マレーシア、フィリピン、インドネシア、ベトナムが黒字

<国別業績 2023年2月期>

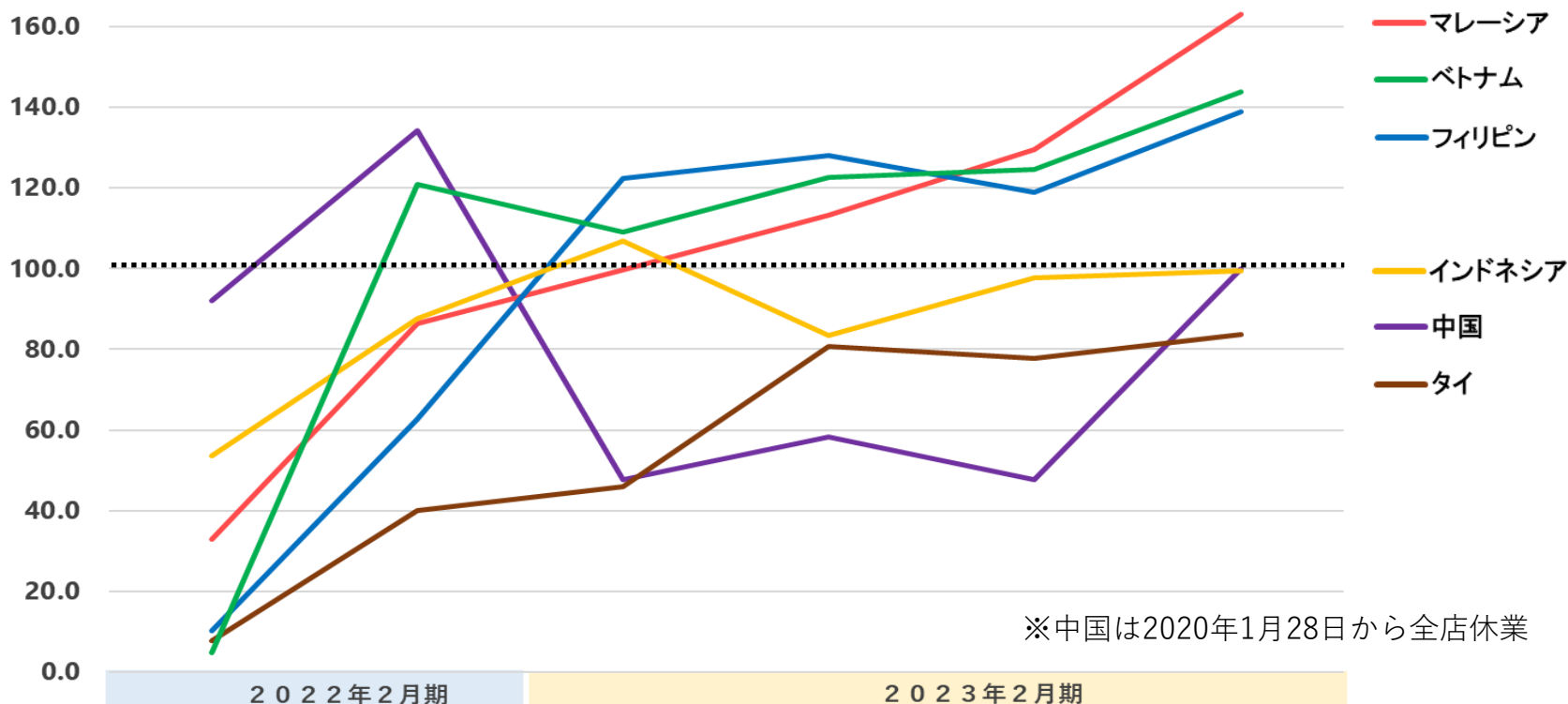
(単位:百万円、%)

	中国		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア		ベトナム		アセアン計	
	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年
売上高	7,721	4,858	931	3,590	147	729	309	2,361	529	1,457	191	895	2,109	9,034
店舗利益	△ 356	△ 1,780	△ 124	897	△ 62	48	184	820	127	297	22	268	147	2,333
販管費	874	1,002	218	395	72	100	138	176	168	269	106	171	705	1,112
営業利益	△ 1,230	△ 2,782	△ 343	502	△ 134	△ 51	45	643	△ 41	28	△ 84	96	△ 558	1,220
既存店売上高 2019年比	△ 3.9	△ 39.3	△ 61.8	+26.1	△ 84.1	△ 29.2	△ 81.3	+27.3	△ 45.1	△ 3.7	△ 60.6	+26.4	△ 67.8	+16.1

※マレーシアの前年ののれん償却を除く

【中国事業・アセアン事業】 売上高既存店2019年同期比推移

第4四半期アセアン既存店売上計は148.1%と好調



	2022年2月期		2023年2月期			
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
中国	92.1	134.3	47.8	58.3	47.7	99.9
アセアン計	25.2	76.1	88.8	108.5	121.0	148.1
海外計	63.3	104.5	62.2	69.5	71.1	118.9

【中国事業】 売上高既存店2019年同期比



中国 **60.7%**

【年間7店舗出店】

12月6日にゼロコロナ政策が解除され
12月11日から全店営業再開。
再開直後は感染拡大し売上が低下するも、
12月後半から春節に向け緩やかに回復。



7月オープンした「モーリー游育運動館」
中国国内の社会問題となっている子どもの
運動不足を解消するニーズを捉えた新たな
業態。

【アセアン事業】 売上高既存店2019年同期比



マレーシア **126.1%**

【年間9店舗出店】

コロナ禍でも投資を継続したことにより、
競合との差別化に成功。
人気のポケモンガオーレが牽引。



フィリピン **127.3%**

【年間4店舗出店】

上半期、学校が在宅授業になり平日の
客数UP。下半期は学校が再開するも
土日の売上が2019年度を超過。

【アセアン事業】
売上高既存店2019年同期比



ベトナム **126.4%**

【年間5店舗出店】
コロナ規制解除後、急回復。
キッズーナよりも小型の新モデル
「KID'S BOX」を初展開。



インドネシア
96.3%

【年間3店舗出店】
コロナ規制が夏まで長引くが
下半期から回復。



タイ
70.8%

【年間1店舗出店】
国による規制が長引き、回復途上。

【アセアン事業】 休業期間中の取り組み

営業規制による休業期間中の取り組みが営業再開後に実を結ぶ



休業期間中も従業員の雇用を守り、
セミナーやイベント教育を実施。
規制緩和後、速やかに営業再開でき、
競合との差別化に繋がる。



お子さまの“えがお”をうみだす
オペレーション力がディベロッパーから
高い評価を受ける。

【中国・アセアン事業】 社会貢献活動

各国で社会貢献活動を積極的に実施



【 売上金の寄付 】
世界自閉症啓発デーに
「中国華文教育基金会」を通じて
売上金を児童の家庭へ寄付



【 無料招待 】
1000店舗達成記念で
海外計7,000名を
プレイグラウンドに
無料招待



【 地域貢献 】
マニラ市と協力し、地域の子どもたちに向けた
イベントを実施

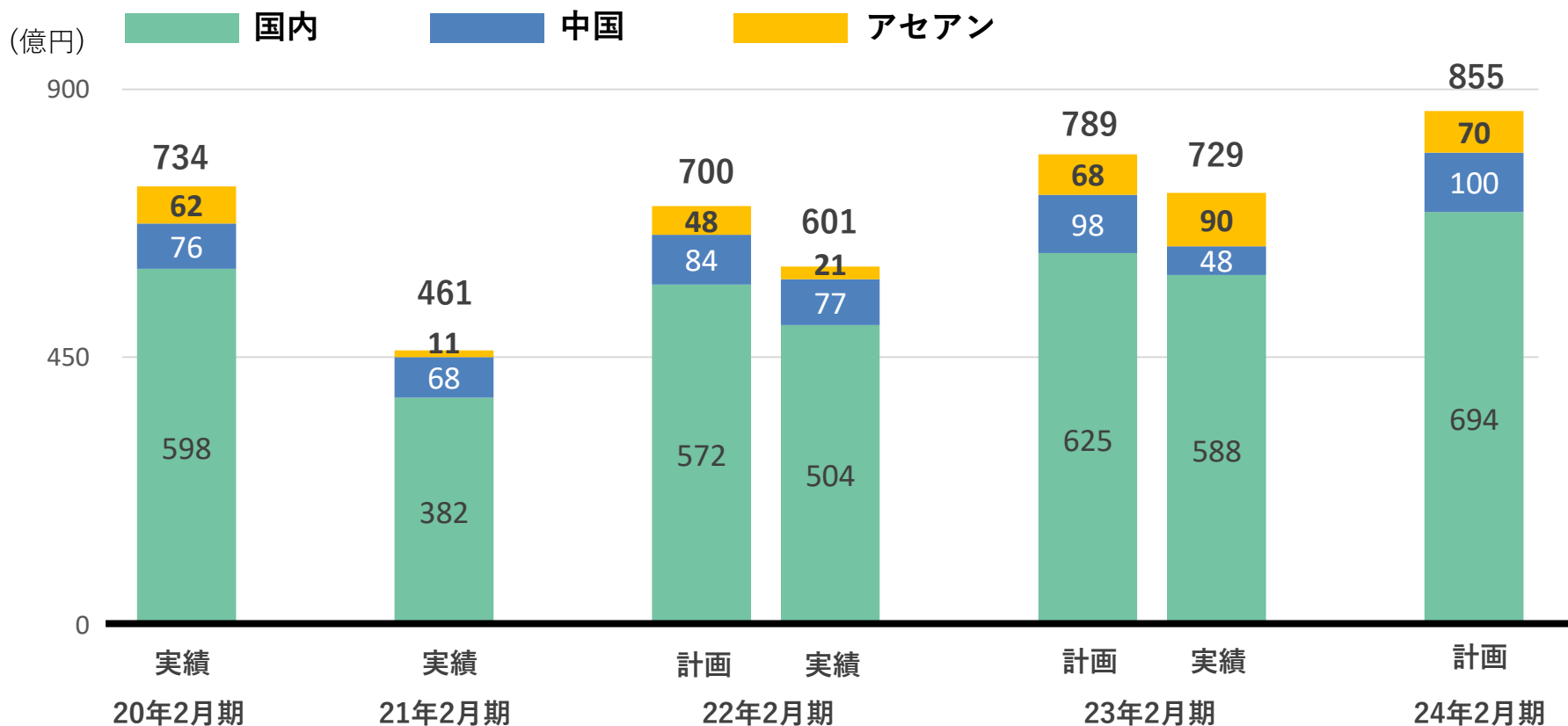


中期経営計画の進捗
及び
2024年2月期重点施策

売上高の進捗



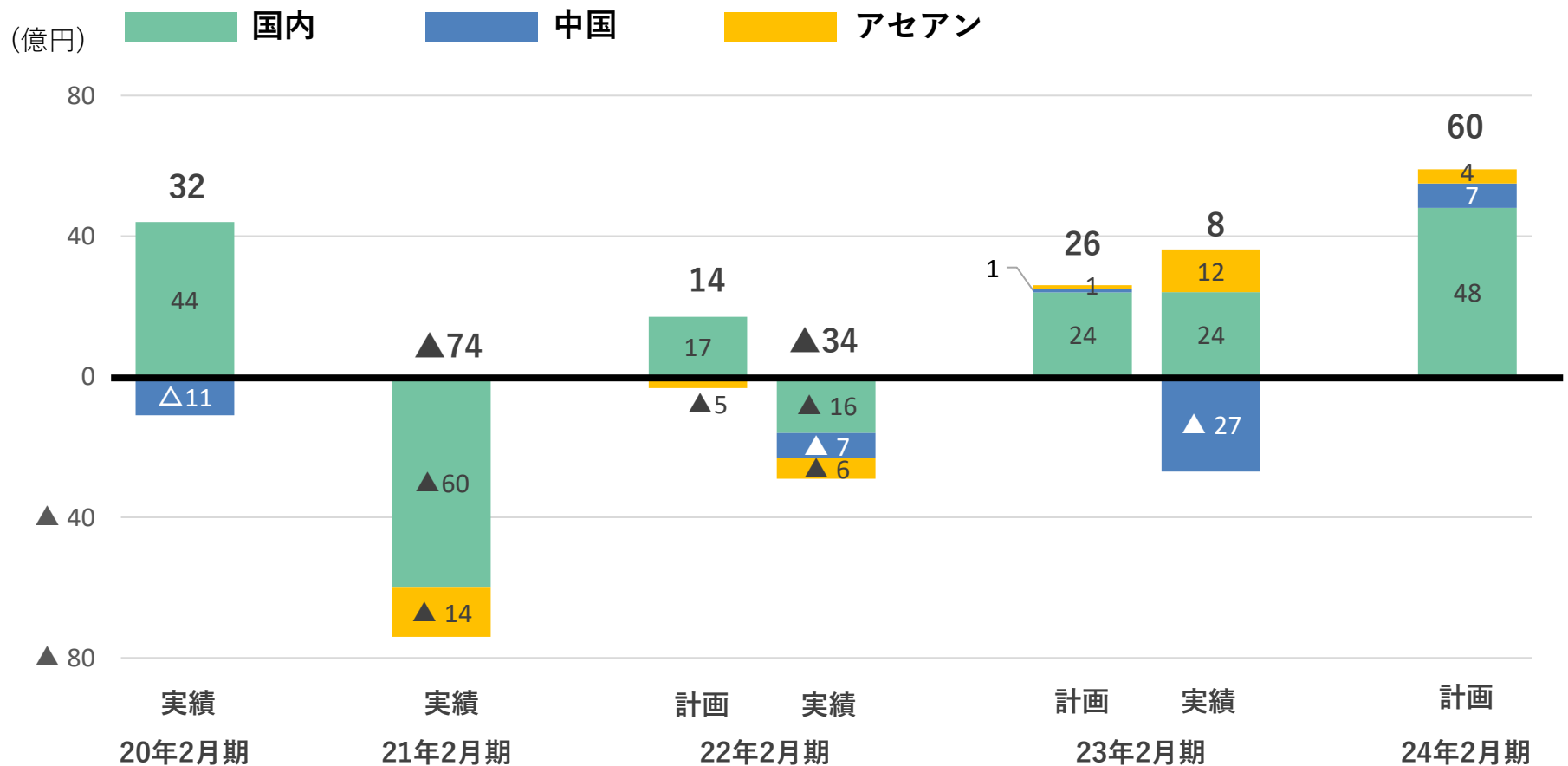
売上高においては、国内は計画未達もコロナ前水準まで回復
アセアンは過去最高を更新し計画達成、中国は回復途上



※合計には連結調整含む

営業利益の進捗

営業利益においては、国内は黒字回復し計画達成
アセアンは過去最高益、中国はゼロコロナ政策の影響により未達



※合計には連結調整含む

各施策の進捗



国内においては、子育てニーズを捉えた業態へ進化、専門店業態は継続拡大
海外においては、商圈やディベロッパーの規模に応じた柔軟な出店を推進

事業区分		23年2月期の主要施策	24年2月期の主要施策（計画）
国内	アミューズメント	『よくばりパス』のコーナー化	『よくばりパス』のさらなる進化
	プレイグラウンド	『のびっこ』の拡大	『スキッズガーデン』単独出店
	オンライン	UI/UXの改善、オンラインスクラッチの拡大	
	カプセルトイ(専門店)	『TOYS SPOT PALO』75店舗出店	拡大継続（100店舗程度）
	プライズ(専門店)	『PRIZE SPOT PALO』27店舗出店	拡大継続（50店舗程度）
	温浴	『OYUGIWA』2号店出店（2022年9月）	
	アウトドア	『ミューの森』出店（2023年7月予定）	
	その他	『キャラis』『ファンタジーメディア』開始	『子育て応援機能複合型施設』出店
海外	中国	『モーリー游育運動館』出店	商圈・ディベロッパー規模に
	アセアン	営業再開に向けた投資・教育	合わせた出店モデル多様化

【国内事業】 既存業態の取り組み

コロナ禍で控えていた機械投資を再開
よくばりパスの新機能や、メダルゲーム機の新機種を積極導入



よくばりパスの強化



メダル投資の再開

【国内事業】 既存業態の取り組み

2022年度102店舗新規出店した戦略的小型店を
2023年度も継続拡大



カプセルトイ専門店



プライズ専門店



新規出店目安
100店舗



新規出店目安
50店舗

【国内事業】 新たな取り組み

「子育て応援機能複合型施設」をイオンモール柏に開業（4月）

学童



SKIDS GARDEN
スキッズガーデン

ラウンジ



こどもクリニック

キャラクターショップ

mollyfantasy
モリーファンタジー

【国内事業】 新たな取り組み



ちまゆうのにわ

新業態インドアプレイグラウンド
東京ソラマチ®に出店
(3月)



「泊まれる冒険フィールド ミューの森」
山梨県上野原市に開業予定
(7月)



【国内事業】
新たな取り組み

SKIDS GARDEN
スキッズガーデン

お子さまが一人であそべる「スキッズガーデン」を
ららぽーと湘南平塚に初の単独出店（4月）



プレイリーダー（保育士・幼稚園教諭免許等保有者）が
お子さまをサポート



【国内事業】 新たな取り組み

当社の資産を活用し、
新たな収益を得られるビジネスの確立



👁️ キャラ 一覧



うさぎのうさこ
うさこ



パオパオぞふと
DECO



パオパオぼんつ
DECO



うさぎのうさみ
うさこ



ほっこりさん。
わがしうまし。



犬のほちみ
うさこ



キャラクターライセンス

クリエイターからキャラを募集し、
当社のリソースを活用してライセンス販売につなげる



アドバタイズ

全国にある当社店舗のサイネージ
約500面とクレーンゲーム内の
サイネージ約3000面を活用

マーケットに合わせた出店拡大

商圈規模・ディベロッパーのニーズに対応する多様な業態を開発

大型店



▲FANPEKKA

標準店



▲kidzoona

戦略的小型店



▲Tiny Mollyfantasy



▲Tiny kidzoona



▲EDOKKO



▲Mollyfantasy



▲KID'S BOX



▲インフレーターパーク

当社のマテリアリティ（重要課題）

①気候変動への対応

②循環型社会への取り組み

③こどもたちの未来への貢献

④従業員がいきいきと働ける
組織づくり

⑤地域社会との
コミュニケーションの深化

⑥コーポレート・ガバナンスの強化



天井照明の蛍光灯をLED化



環境に良い自動車について学べる
「えこらんエコロジーバス」を開発

サステナビリティ経営への取り組み

当社のマテリアリティ（重要課題）

①気候変動への対応

②循環型社会への取り組み

③こどもたちの未来への貢献

④従業員がいきいきと働ける
組織づくり

⑤地域社会との
コミュニケーションの深化

⑥コーポレート・ガバナンスの強化



育休取得推進に向けた福利厚生の拡充



従業員の時間制遊具施設利用を無料化
スキッズガーデンの「子連れ出勤」開始



2 0 2 4 年 2 月 期

連結業績予想



2024年2月期 連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2023年2月期 実績	2024年2月期 予想	前期 増減率	前期 増減額
売上高	72,690	86,200	18.6	+13,509
営業利益	849	4,000	371.0	+3,150
経常利益	1,318	2,700	104.8	+1,381
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 3,376	600	—	+3,976
1株当たり当期純利益	△170.82円	30.35円	—	+201.17円
1株当たり配当金	10.00円	10.00円	—	±0円

セグメント別 2024年2月期 連結業績予想

(単位:百万円、%)

		国内	海外			連結調整	連結計
			中国	アセアン	海外計		
売上高	額	68,000	9,300	9,000	18,300	△ 100	86,200
	前期比 増減率	+15.6	+91.4	△ 0.4	+31.7	—	+18.6
営業利益	額	4,000	△ 700	700	0	0	4,000
	前期比 増減額	+1,597	+2,082	△ 520	+1,562	△ 9	+3,150

■ 前提 売上高既存店前年比

国内事業 107.0%

中国事業 190.0%

アセアン事業 100.0%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等には様々な要因により、大きく異なる可能性があります。





单体資料

2023年2月期の業績（単体）

2023年2月期

（単位：百万円、％）

	前期	当期	前期比 増減率
売上高	50,410	58,824	16.7
売上総利益	1,897	6,368	235.6
販売管理費	3,497	3,966	13.4
営業利益	△ 1,600	2,402	—
営業外損益	592	1,267	113.9
経常利益	△ 1,007	3,669	—
税引前 当期純利益	△ 5,421	△ 2,705	—
当期純利益	△ 5,505	△ 3,938	—

四半期毎の業績推移（単体）

（単位：百万円、％）

	2023年2月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率
売上高	13,519	+20.3	14,863	+19.1	14,313	+16.6	16,127	+11.9
売上総利益	1,063	—	1,690	+665.3	1,211	+443.4	2,402	+53.0
販管費	1,019	+10.2	926	+19.5	1,023	+9.4	996	+15.6
営業利益	44	—	764	—	188	—	1,405	—
営業外損益	716	+326.0	718	+2,029.5	△ 183	—	318	—
経常利益	760	—	1,369	—	△ 90	—	1,630	—
税引前利益	△ 539	—	883	—	△ 1,548	—	△ 1,500	—
四半期純利益	△ 810	—	418	—	△ 1,577	—	△ 1,968	—

会計上の売上高詳細（単体）

（単位：百万円、％）

	前期		当期		前期比	既存店 2019年 比
	実績	構成比	実績	構成比		
遊戯機械	42,169	83.7	48,341	82.2	114.6	92.0
商品（物販）	7,801	15.5	9,948	16.9	127.5	122.6
委託	83	0.2	89	0.2	107.2	—
その他	170	0.3	345	0.6	202.5	—
遊戯施設関係売上	50,226	99.6	58,725	99.8	116.9	96.2
その他売上高	183	0.4	99	0.2	53.9	66.4
売上高合計	50,410	100.0	58,824	100.0	116.7	98.7

貸借対照表（単体）

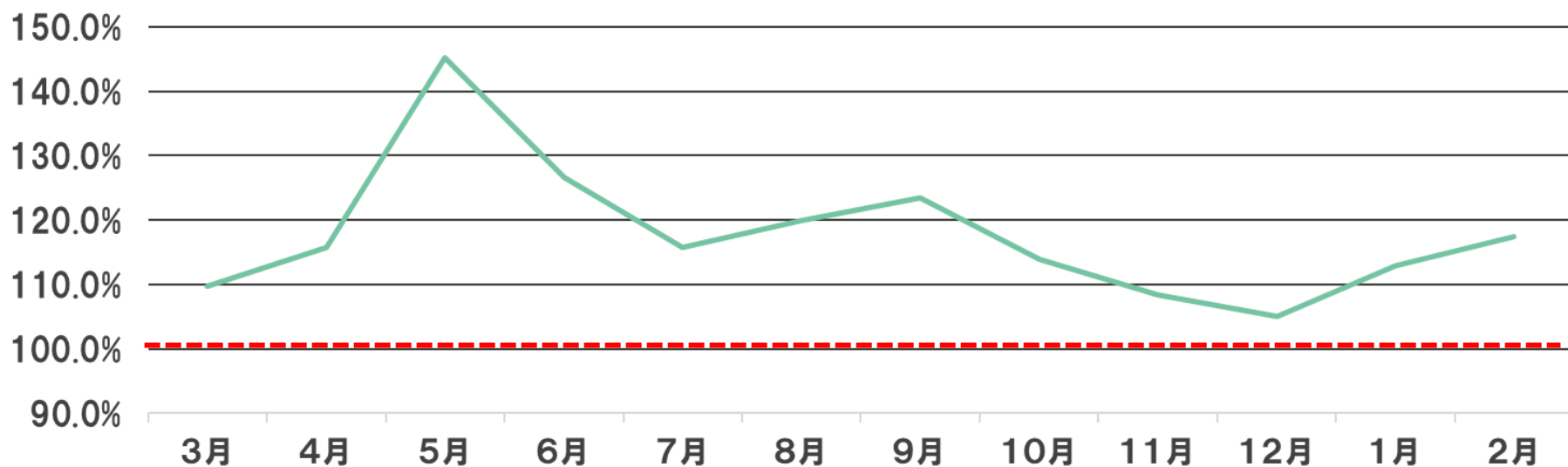
2023年2月期

（単位：百万円、％）

	前期		当期		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	13,744	33.5	17,312	39.4	+3,568
固定資産	27,244	66.5	26,612	60.6	△ 631
資産合計	40,988	100.0	43,925	100.0	+2,937
流動負債	23,782	58.0	25,210	57.4	+1,428
固定負債	5,332	13.0	10,978	25.0	+5,646
負債合計	29,114	71.0	36,189	82.4	+7,074
純資産合計	11,873	29.0	7,736	17.6	△ 4,137
負債純資産合計	40,988	100.0	43,925	100.0	+2,937

既存店前年比の月次推移（単体）

既存店前年比		(単位:%)					
既存店前年対比	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	
既存比	109.7	115.8	145.2	126.6	115.8	120.0	
既存店前年対比	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度	
既存比	123.5	113.9	108.4	105.0	112.9	117.5	



部門別売上動向（単体）

	2023年2月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	売上高 構成比	既存 前年比	売上高 構成比	既存 前年比	売上高 構成比	既存 前年比	売上高 構成比	既存 前年比
時間制遊具	3.0	151.6	3.2	139.8	2.8	116.8	3.2	113.4
体感	5.7	119.4	5.6	113.0	5.2	106.5	5.2	105.1
カード	13.4	147.2	11.5	121.0	11.6	116.0	9.8	101.8
メダル	17.5	117.5	18.5	118.1	18.3	119.2	18.7	119.2
プライズ	53.2	114.5	54.1	118.0	54.3	112.9	55.2	111.7
シール	1.9	113.2	1.6	109.2	1.5	111.5	1.4	98.2
カプセルトイ	4.8	175.1	5.2	158.1	5.5	144.1	5.6	128.9
遊戯施設売上計	100.0	121.8	100.0	120.0	100.0	115.4	100.0	112.2

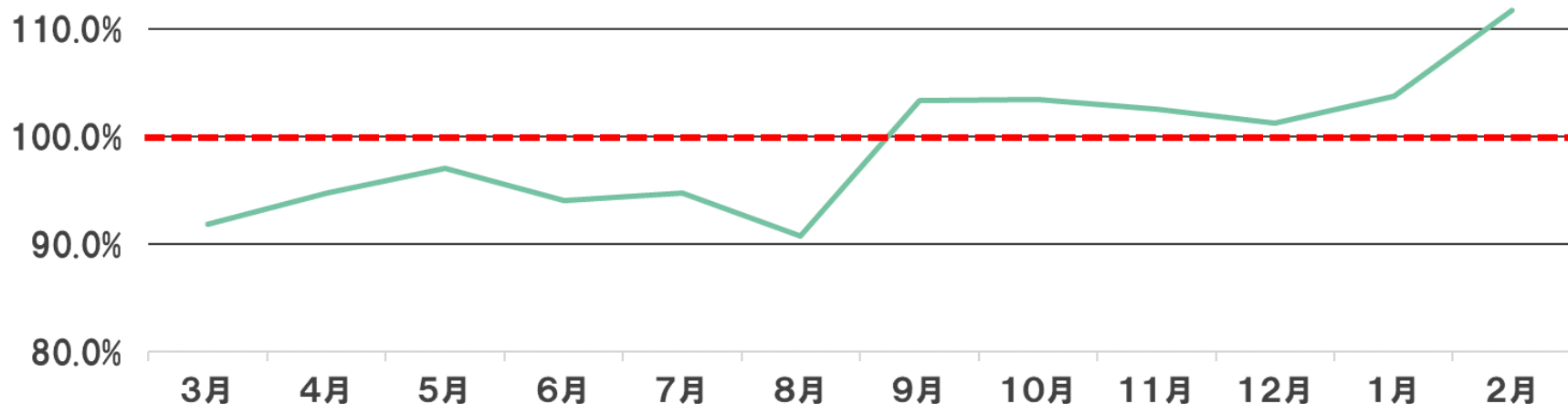
※モーリーオンラインは除く

既存店2019年比の月次推移（単体）

既存店2019年比

（単位：%）

既存店 2019年対比	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
既存比	91.9	94.8	97.0	94.1	94.7	90.7
既存店 2019年対比	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度
既存比	103.3	103.4	102.5	101.2	103.7	111.7



部門別売上動向（単体）

	2023年2月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	売上高 構成比	既存 2019年比	売上高 構成比	既存 2019年比	売上高 構成比	既存 2019年比	売上高 構成比	既存 2019年比
時間制遊具	3.0	77.3	3.2	76.6	2.8	84.4	3.2	103.9
体感	5.7	79.8	5.6	79.0	5.2	84.8	5.2	90.9
カード	13.4	100.0	11.5	100.9	11.6	99.6	9.8	98.2
メダル	17.5	69.3	18.5	65.5	18.3	73.8	18.7	78.0
プライズ	53.2	104.5	54.1	103.9	54.3	118.5	55.2	117.0
シール	1.9	68.8	1.6	68.0	1.5	73.9	1.4	76.1
カプセルトイ	4.8	494.2	5.2	432.2	5.5	363.6	5.6	301.8
遊戯施設売上計	100.0	94.7	100.0	92.9	100.0	105.4	100.0	105.0

※モーリーオンラインは除く